

おしえて

ドクター

No.74 「脳動脈瘤」について

脳ドックなどで頭のMRIを行ったとき脳動脈瘤が見つかることがあります。動脈瘤とは、動脈がコブ状に膨れた状態を言います。大きな動脈瘤では、神経を圧迫して片側の眼が下がるなどの症状がありますが、ほとんどの場合無症状で、経過観察で良い病気です。ただし、ごく一部の動脈瘤は破裂することがあり、くも膜下出血となります。激しい頭痛を伴う重篤な病気ですので、リスクが高い動脈瘤は予防的な治療が必要です。

動脈瘤は薬では治りませんので、手術によって動脈瘤を潰してしまいうくリップング術、カテーテルを使って動脈瘤内に血液が入らないようにするコイル塞栓術が主な治療法となります。それぞれに長所、短所があり、どちらが優れているというものではありません。治療の適応は、動脈瘤の大きさ、形状だけでなく、年齢や健康状態によっても変わります。動脈瘤の破裂率はリスクが高いものでも年間1%程度である一方、手術のリスクは5%程度とされています。ですので、長期



的に見て動脈瘤の破裂リスクが、手術のリスクを上回る場合にのみ治療を検討します。

動脈瘤の発生を予防する有効な方法は、現在のところありません。動脈瘤がある人で破裂予防のためには喫煙や多量の飲酒を避け、高血圧があれば治療をします。また定期的な検査で動脈瘤の形や大きさが変わっていないかを見ることも重要です。

現在、脳のMRIをすれば1mm程度の小さな脳動脈瘤でも見つけることが可能です。MRIは脳ドックを受診すれば行うことができます。動脈瘤は、健康な人の3〜5%程度に見られ、珍しい病気ではありませんがほとんどは治療しなくても良いものです。一方で、動脈瘤と診断されると脳に爆弾を抱えた気持ちになり、うつ症状を起こす人もいますので、医師の話をよく聞いて、受診するか慎重に考えてください。

お問い合わせは
総合医療センター
☎22-1211 FAX22-9498

すこやか情報局

～3月は「自殺対策強化月間」です～
一人ひとり大切ないのち 誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現をめざして

全国の年間自殺者数 **21,081人** (約57人/日) 警察庁「自殺統計」令和2年確定値

自殺の多くは複数の原因や背景を有しており、さまざまな要因が連鎖する中で起きています。自殺は、その多くが追い込まれた末の死とされています。

あなたにもできる自殺予防のための4つの行動

家族や周りの人のいつもと違う様子に気づいたら、声をかけ、話を聞いてあげてください。

- 気づき：家族や仲間の変化に気づいて、声をかける
- 傾聴：本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける
- つなぎ：早めに専門家に相談するよう促す
- 見守り：温かく寄り添いながら、じっくりと見守る

生きづらさを感じている人へ

一人で抱え込まず、まずは誰かに相談してみませんか。

相談窓口	電話番号	受付時間
よりそいホットライン	0120-279-338	毎日 24時間
三重いのちの電話	059-221-2525	毎日 午後6時～11時
	0120-783-556	毎月10日 午前8時～翌日午前8時
三重いのちの電話	0570-783-556	毎日 午前10時～午後10時
	059-253-7823	午後1時～4時
三重県自殺対策推進センター 自殺予防・自死遺族電話相談	059-253-7823	午後1時～4時
自殺予防夜間・休日電話相談	0570-064-556	月～金曜日(祝日、年末年始を除く) 午後4時～午前0時 土・日・祝日 午前9時～午前0時 ▷1回30分程度
保健医療課	24-1182	月～金曜日(祝日、年末年始を除く) 午前8時30分～午後5時15分

＝献血にご協力ください＝

とき 3月9日(水) 午前9時30分～11時30分 場所 市役所 ▷献血にご協力いただける人には要件があります。
問 保健医療課 ☎24-1195 FAX24-3032

令和3年度不妊治療費助成の申請について

特定不妊治療費助成事業、一般不妊治療費助成事業ともに、申請期限は3月31日(木)です

- ・やむを得ず3月31日(木)までに申請できない場合は、特定不妊治療費助成事業は治療が終了した日から60日以内、一般不妊治療費助成事業は5月29日(日)まで申請できますが、令和4年度の助成対象になります。
- ・特定不妊治療費助成事業は、治療終了日から60日を超え、かつ4月1日(金)以降は、いかなる理由があっても申請ができません。
- ・治療終了日も1日と数えて60日以内ですので、ご注意ください。
- ・郵送するときは必ず、簡易書留郵便で送ってください。消印日が申請日になります。
- ・助成の内容、要件などは市ホームページでご確認いただくか、お問い合わせください。市ホームページ



お問い合わせ 子ども未来課 ☎24-1491 FAX24-1393

すくすく離乳食教室

離乳食・子育てに関する講話などを行います。

とき 《初期・中期》4月12日(火) 午後1時30分～3時
《後期・完了期》4月11日(月) 午後1時30分～2時30分

場所 くわなメディアライヴ 定員 20人(先着順)

申込期間 3月15日(火)～4月4日(月)

申込 下記二次元バーコードからお申し込みください。



育児相談

乳幼児の発達や発育、栄養などの相談ができます。

とき 4月15日(金) 午前10時～11時

場所 くわなメディアライヴ 定員 30人(先着順)

申込期間 3月15日(火)～4月8日(金)

申込 右記二次元バーコードからお申し込みください。



問 子ども総合センター ☎24-1380 FAX24-5497

土日祝日(昼間・夜間)に病気になったら

救急医療

夜間・休日に急病になった時は、診療可能な病院を24時間体制で案内します。
※案内を受けた後、医療機関にお問い合わせからお出かけください。

パソコンによるご案内(医療ネットみえ)
▶ <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/>
携帯電話によるご案内
▶ <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/k/>
音声によるご案内(無料)
☎0800-100-1199
救急医療情報センター
☎059-229-1199

くわな健康・医療相談ダイヤル24
☎0120-149-107

土曜夜間・休日は応急診療所
電話は診療時間内をお願いします。
〔診療科目〕内科、小児科
日曜・祝日 午前9時30分～正午
※1月1日は休診 午後1時～4時
土曜夜間 午後7時30分～9時30分

応急診療所(ふれあいプラザ内)
☎21-9916

※新型コロナウイルス感染対策のため、インフルエンザの迅速検査は行いません。

小児科については、担当医の専門性により対応年齢が異なります。事前に電話で確認してください。

日曜・祝日の午後5時～10時は、当番医療機関へ事前に医療機関へ電話してください。

6日(日)	青木内科	☎22-1111
13日(日)	桑名病院	☎22-0460
20日(日)	桑名病院	☎22-0460
21日(祝)	青木内科	☎22-1111
27日(日)	青木内科	☎22-1111